

史泉

〈論 文〉

対馬藩の「鑑粕」商い

—寛文五、六年の国元「表書札方毎日記」から— ……泉 澄一 (1)

宝永五、六年の朝幕関係について ……渡辺 優 (15)

〈研究ノート〉

大坂町奉行所支配と

畿内近国地域社会についての覚書 ……岩城 卓二 (30)

会員の発表論文目録 …… (44)

〈論 文〉

古代エジプトの式文「ヘテプーディーネスウ」と王権観 ……木下 理恵 (1)

第七八号

史 泉

第七六号

(一九九二年九月発行)

△論 文▽

一五世紀後半ロシアの対タタール外交……………中村 仁志

『唐詩記事』卷四八薛宜僚条

——その外的批判……………石川 泰行

『チラム・バラムの書』の

歴史的価値の研究……………山瀬 暢士

△研究ノート▽

旧港考——一五世紀前半、パレンバン

が果たした役割について……………岩本小百合

会員の発表論文目録

史 泉

第七七号

(一九九三年三月発行)

△講 演▽

末永雅雄先生を偲んで……………網干 善教
親友矢守一彦君を偲んで……………末尾 至行

私とムスリム世界……………藤本 勝次

△論 文▽

今井寺内町の「市」について……………森本 育寛

△研究ノート▽

グローバル人類学——アメリカ合衆国へのアジア・

太平洋移民……………ロバート・W・フランコ

唐の節度使と日本の遣唐使……………大原 良通

一九九二年度史学・地理学会大会報告

一九九一年度史学・地理学科卒業論文題目

一九九一年度大学院修士論文題目

会員の発表論文目録

『史泉』 投稿規定

『史泉』編集委員会では、次の要領で会員諸氏の原稿を募集しています。

一、種類と枚数

- (1) 論文 五〇枚以内(図・表・註を含めて四〇〇字詰換算)
- (2) 研究ノート・史料紹介 三〇枚以内(同右)
- (3) 学界動向・書評 三〇枚以内(同右)

二、留意事項

- (1) 原稿は、四〇〇字詰または二〇〇字詰原稿用紙に、本文・註とも一ます一字、原則として縦書(横書も可)、完成原稿(校正段階での書きかえはご遠慮願います)でご投稿ください。
- (2) 原則として、図・表等の折込みはいたしませんので、あまり大きな図・表等はご遠慮ください。原稿のコピーはかならずとっておいてください。
- (3) 採否等

三、採否等

- (1) 原稿の採否は、委員会の責任において審査のうち、三か月以内に通知します。
 - (2) 掲載原稿は返却しません。
 - (3) 論文・研究ノート・史料紹介の執筆者には抜刷を三〇部進呈します。
- ### 四、原稿の提出先
- 史学・地理学合同研究室
なお、『史泉』は年二回刊行(九月末、三月末)、原稿のしめきりは五月末と十一月末です。

編集後記

第七八号をお届けします。今年の夏は国内、国外共に大きな変革が相次ぎましたが、皆様のまわりでは如何でしたでしょうか。

私たち編集委員の方はと言えば、大した出来事もなく、いつものまにか秋になってしまったような気がしますが、皆様におかれましては益々のご活躍をお祈り申しあげます。

なお引き続き原稿を募集しております。上記の規定をお読みになった上で、研究成果を奮ってご寄稿くださいますようお願いしております。(塩)

史泉 第七八号

一九九三年九月三〇日発行

☎ 564

大阪府吹田市山手町三―三―三五

関西大学文学部史学・地理学合同研究室

編集兼 発行所 関西大学史学・地理学会

振替 大阪七―二六〇―一六

☎ 544

大阪市生野区桃谷五―三―三三

印刷所 ダイコウ印刷株式会社

電話(〇六)七二―一六七〇九代

SHISEN

Historical & Geographical Studies
in
KANSAI UNIVERSITY

VOL. LXXVIII

Sep. 1993

Contents

Articles

The “Rukasu (monoxide lead)” business of the feudal clan of Tsushima (対馬) — from the *Omotoshosatsukata-diary* (表書札方毎日記) in Tsushima of Kanbun (寛文) 5-6 years. *Choichi Izumi* (1)

Between the Imperial Court and the Tokugawa Shogunate from Hoei (宝永) 5 to 6 years *Yuh Watanabe* (15)

A Formula “*Htp-dj-nsw*” and the Concept of Kingship in Ancient Egypt *Rie Kinoshita* (1)

Note

Note on the Dominion of the Osaka Magistrate Office and the Regional Society in “Kinai (畿内)” *Takuji Iwaki* (30)

The Historical & Geographical Society
of
KANSAI UNIVERSITY
Osaka Japan